

メンターの母語は英語ですか？

…メンターの参加条件の1つとして、IELTS 6.0 や TOEFL iBT 80 あるいは同等の語学能力を有することになっていて、母語は様々です。

もちろん英語が母語のメンターもいますが、できるだけ多くの方がメンタリングの機会を持てるようにメンタリング希望日時などを考慮してマッチングしていることをご理解ください。

メンターは IELTS 受験経験者ですか？

…IELTS を受験したことのないメンターも大勢います。

メンターはこのプロジェクトのために、メンティーの皆さんの「サポート」をするため、British Council Japan の講師による IELTS メンタートレーニングを1日受けます。ただし、IELTS の概要など、メンティーの皆さん自身は日本語で情報を得るとスムーズだと思いますので、ウェブなどで調べてみてください。

英文法などの説明をしてほしいのですが…。

…メンターは例えば母語が英語であっても、英文法が専門の研究者や教師ではなく、ボランティアでこのプロジェクトに参加している1学生です。そのため英文法の説明は難しい場合が多いです。またメンティーの皆さんにとっても、英文法など複雑な説明は日本語での参考書などを参照した方が分かりやすいのではないのでしょうか。

メンタリングにはカリキュラムがありますか？

…メンティーが自身で重点をおきたいセクション(スピーキングやライティング)を学習できるよう、カリキュラムはペアで自由に計画することになります。初回のメンタリングであなたが何を伸ばしたいかメンターに伝え、ペアの間で8回のメンタリングの予定を立ててください。

メンタリングで使う資料は何ですか？

…本プロジェクトのウェブサイト「Mentee 募集要項」のページ、「メンタリング」をご参照ください。

また、大阪大学附属図書館などで IELTS に関する資料を探してみることもおすすめします。OPAC の使い方など、メンターの中にも知らない人もいるかもしれませんので、メンティーの皆さんがぜひ教えてあげてください。

なお必要に応じて、メンターと一緒に利用できるような、IELTS に関する英語での記載のウェブページの一覧を参考として配布する予定です。ただしプリントアウト等にかかる費用への補助はありません。

メンターに対して、私からできることは何ですか？

…このプロジェクトでは「日本の学生と友達になりたい人」をメンターとして募集しています。ですので、ぜひカジュアルな話もしてみてください。日本や日本語についての質問にはできるだけ答えてあげてください。日本について話すこと、「私はこう思う」と意見を言うことは、留学に向けてあなたのためにもきっとなるのではないのでしょうか。

日本に来てから間もないメンターもいます。新しい生活や習慣に慣れていないかもしれません。文化や生活の違いも念頭に置いて、お互いを尊重し合うという姿勢で接しましょう。

またメンターが「メンター認定証」の対象になるためには、メンティーの皆さんとのメンタリングを8回完了することが不可欠です。その可能性をなくさないためにも途中でリタイアしないことが大切です。

最初から英語で積極的にメンターへ話すのは恥ずかしい人もいるかもしれませんが、このプロジェクトで学生の皆さんで主体的に、楽しく交流してください。